

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 13号)

平成30年 2月 9日発行  
 兵庫のみ研究所

一部調査地点を除いて、この海域全般に窒素は概ね2~3  $\mu\text{g at/L}$ 台の値でした。珪藻は、この海域西部沿岸域を中心にユーカンピアが確認されました。今のところすぐに問題となる発生量ではありませんが、播磨灘の全体的な栄養塩は漸減傾向にあり今後はユーカンピアによる消費の可能性も予想されますので、その動向には十分注意して下さい。

(水温) 漁場内平均6.4℃。平年比2.5℃、昨年比3.3℃ともに低い。(塩分) 平均31.81psu。前回(31.74)調査より0.07psu高い。  
 (栄養塩、珪藻) この海域西部沿岸域を中心にユーカンピアが確認されており別府周辺で海水1mlあたり130細胞前後とやや多いが、魚住周辺海域や沖筋で1mlあたり30細胞までと今のところ大きな増殖や拡散は見られていない。それ以外の海域では前回調査同様に珪藻はほとんど確認されなかった。水温の高かった林崎新漁場周辺海域まで、大阪湾から流入する海水の影響があったと思われるが、今回調査において地先のサンプルを中心に海域全般にアンモニア態窒素の値が少し高い傾向を示したため、窒素の平均値は概ね前回調査並から少し高い状況であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	8.1	6.4	8.9	9.7
窒素	2.9	3.2	2.5	2.2
リン	0.36	0.33	0.33	0.24

(2/1) (2/7)

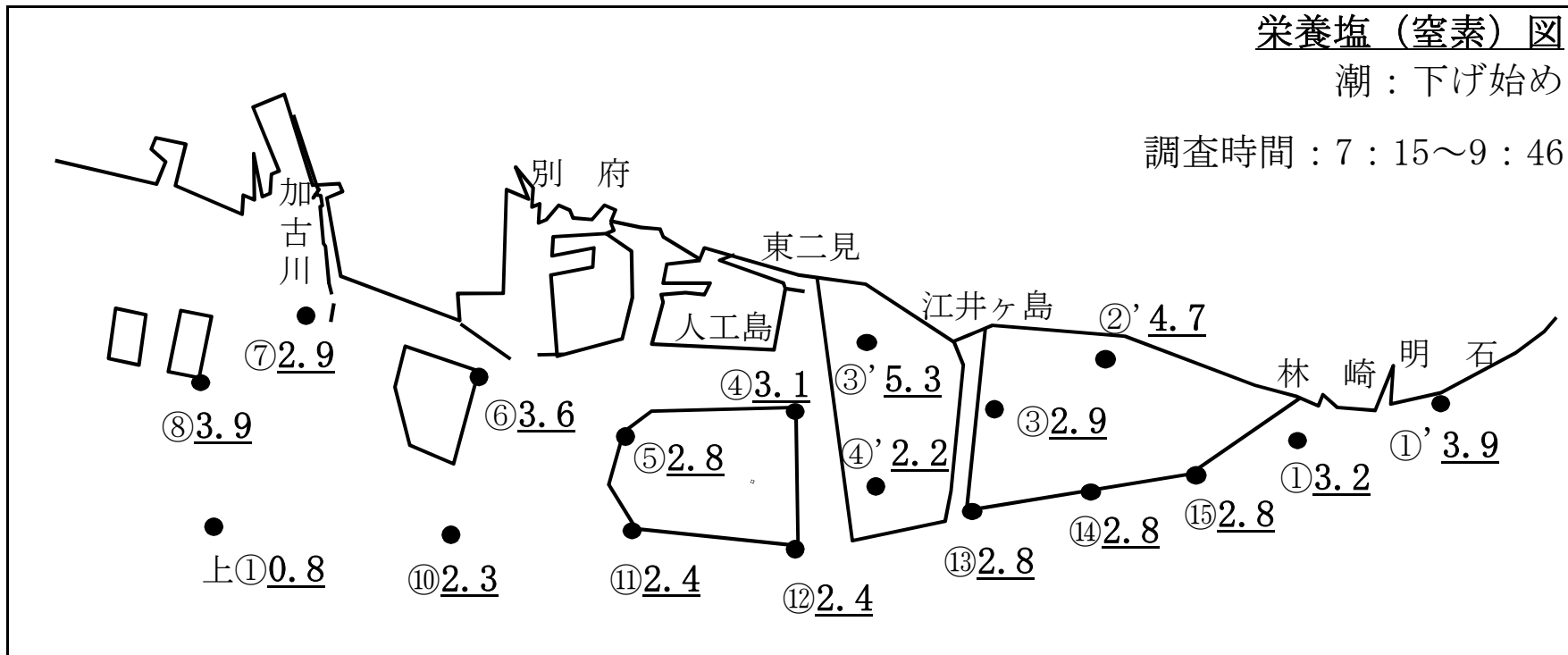
西播地先					
伊保地	水温	6.2℃	伊保沖	水温	6.1℃
	窒素	2.1		窒素	1.4
	リン	0.20		リン	0.18
白浜地	水温	5.9℃	白浜沖	水温	5.7℃
	窒素	1.9		窒素	1.2
	リン	0.21		リン	0.21

平成30年 2月 9日調査

## 栄養塩(窒素) 図

潮：下げ始め

調査時間：7:15~9:46



## 水温図

